



かえるの声

平成26年 12月 25日(木) 発行

No. 16

途別小学校の教育目標

あかるい子 (徳)

かしこい子 (知)

たくましい子 (体)

知・徳・体をバランスよく育てよう

自分を振り返る冬休みに

本日をもちまして第2学期を終了いたしました。保護者・地域の皆様には、教育活動に多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

2学期の始業式に「のび太型よりカツオ型に」という話を子どもたちにしました。何でもドラえもんに頼ってしまう「のび太」より、いざという時、自分で考えて難局を乗り切ろうとする「カツオ」のように、自分の力を活用する2学期にしようということです。授業や行事などで、自ら考えて行動したり、工夫したりする姿をたくさん見ることができました。

8/29 JICAの皆さんと楽しく国際交流



2学期の思い出場面集



9/2 ジャガイモ収穫



10/1 マラソン記録会



9/16 稲刈り



10/10 特認校公開参観日

10/27 とべつ校下をきれいに



10/3 とべつ子レストラン



12/9 もちつき集会



11/15 学習発表会

本日の終業式では振り返りについて話しました。自分のことを冷静に振り返る力を「メタ認知」といい、自己を高めるために大切なものです。長期休業日では、自分で計画を立て、自分の判断で過ごす時間が多くなります。起床・就寝時間、学習・読書の時間、運動・遊びの時間など、生活習慣の目標に沿って時間を有効に使うことができているかなど「自分自身に問いかけ、振り返りながら過ごす冬休みにする事の大切さ」について話しました。ご家庭でも子どもたちの「メタ認知」が高まるよう、励ましの言葉をお願いいたします。

子どもたちにとって、事故・ケガ・病気などのない、思い出多い冬休みとなることを心より願っております。

鉛筆と箸の持ち方

12月の参観日の全体懇談で、「鉛筆や箸の正しい持ち方を家庭でもご指導ください。」とお話ししました。授業中や給食時間に子どもたちの様子を見てみると、一生懸命直そうとしている子どもの姿がありました。早速取り組んでいただいているご家庭があることに、感謝の気持ちで一杯になりました。

この二つは大人になってからではなかなか直せないもので、将来的に就労の際、重要なポイントとなる場合もあります。鉛筆を正しく持つことは筆圧と関係し、整った字を書くために大切です。箸については、面接で会食の場を設定する企業もあり、その際「箸の持ち方は、家庭の躰の象徴」と捉え、注目するそうです。



鉛筆や箸の持ち方は、低学年のころから正しく指導することが大切です。

1月の行事予定

1	木	元日	
2	金	年始休暇	
3	土	年始休暇	
4	日		
5	月	学習サポート① ｽｰﾄﾞ練習① 仕事始め	
6	火	学習サポート② ｽｰﾄﾞ練習②	
7	水	学習サポート③ ｽｰﾄﾞ練習③	
8	木	ｽｰﾄﾞ練習④	
9	金	ｽｰﾄﾞ練習⑤	
10	土	全町ｽｰﾄﾞ大会 長寿会新年会	
11	日		
12	月	成人の日	
13	火	東部方面ｽｰﾄﾞ大会(豊頃町)	
14	水	ｽｰﾄﾞ練習⑥	
15	木	ｽｰﾄﾞ練習⑦	
16	金	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 毎月19日は、幕別教育の日と町ノーテレビ・ノーゲームデーです。 </div>	
17	土		
18	日		
19	月	分掌会議 職員会議 特認校説明会 14時	
20	火	第3学期始業式	
21	水	研修日(今年度のまとめ)	
22	木	CIR(全) クラブ(百人一首)	
23	金	児童会	
24	土	西幕地区ｽｰﾄﾞ大会	
25	日		
26	月	ｽワディ号 町校長会議	
27	火	CRT①	
28	水	CRT② 学級経営交流会 オーバル授業	
29	木	札内中学校入学説明会	
30	金	校内リンク納め記録会 月末統計	
31	土		

町PTA研究大会より

12月14日(日)に、町PTA研究大会が開催され、詩画家の坂本勤先生の講演会が開かれました。先生は、幕別中学校を振り出しに教職につかれ、平成9年に札幌市で退職後、個展や子育てに関する講演会などで活躍されている方です。

「誠意をもった言葉は子どもの心に浸透する」「親が自分を主語にして話す【～しなさい】という文末を避けることができる」「人間は人様の役に立つことをするために勉強する」「子どもの弱い部分を直すのではなく生かすという意識」「そのまんまがいいと1年に1回は子どもに伝える」など、子どもたちの心に寄り添い続けてきた坂本先生の教えが、会場の人々の心に浸み込んでいきました。この教えを家庭と学校で共有し、子どもたちとのかかわりの中に生かしていけたらと強く感じた講演会でした。

